



令和4年5月20日
総合政策局情報政策課

「国土交通月例経済(令和4年5月号)」

国土交通省では、「国土交通月例経済(令和4年5月号)」を発表したのでお知らせいたします。

概況は、別紙のとおりです。なお、詳細につきましては、以下の URL よりご覧ください。

建設分野	https://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/getsurei/r04/05/construction_menu.html
交通分野	https://www.mlit.go.jp/toukeijouhou/getsurei/transport/transport_menu.html

本件につきまして、ご質問やご要望等ございましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

国土交通月例経済は、建設分野や交通分野の統計をはじめ、事業者や関係団体が公表している様々なデータの中から、主要な項目をまとめて毎月公表しています。

問い合わせ先

総合政策局情報政策課 中村、野村

TEL:(03)5253-8111(内線:28414)

FAX:(03)5253-1567

総合政策局情報政策課建設経済統計調査室 片境

TEL:(03)5253-8111(内線:28631)

FAX:(03)5253-1566

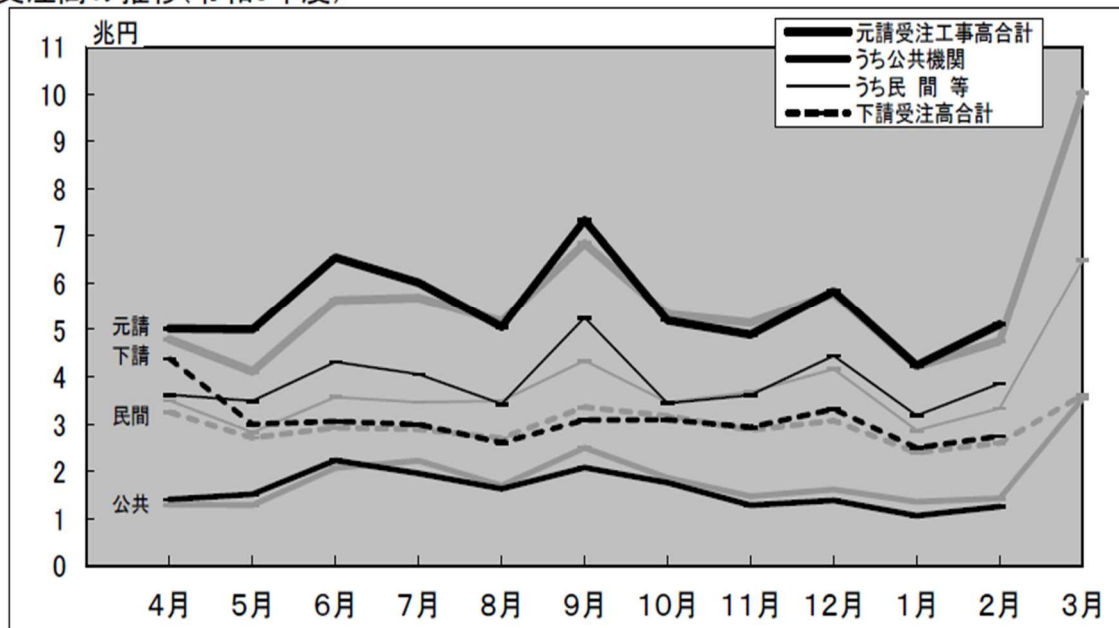
国土交通月例経済（令和4年5月号）概況

I 建設分野

1. 建設工事の受注高

2月の受注高は7兆8,566億円で、前年同月比6.9%増加した。うち元請受注高は5兆1,112億円で、同7.5%増加し、下請受注高は2兆7,454億円で、同5.7%増加した。元請受注高のうち公共機関からの受注高は1兆2,523億円で、同12.0%減少し、民間等からの受注高は3兆8,589億円で、同15.9%増加した。

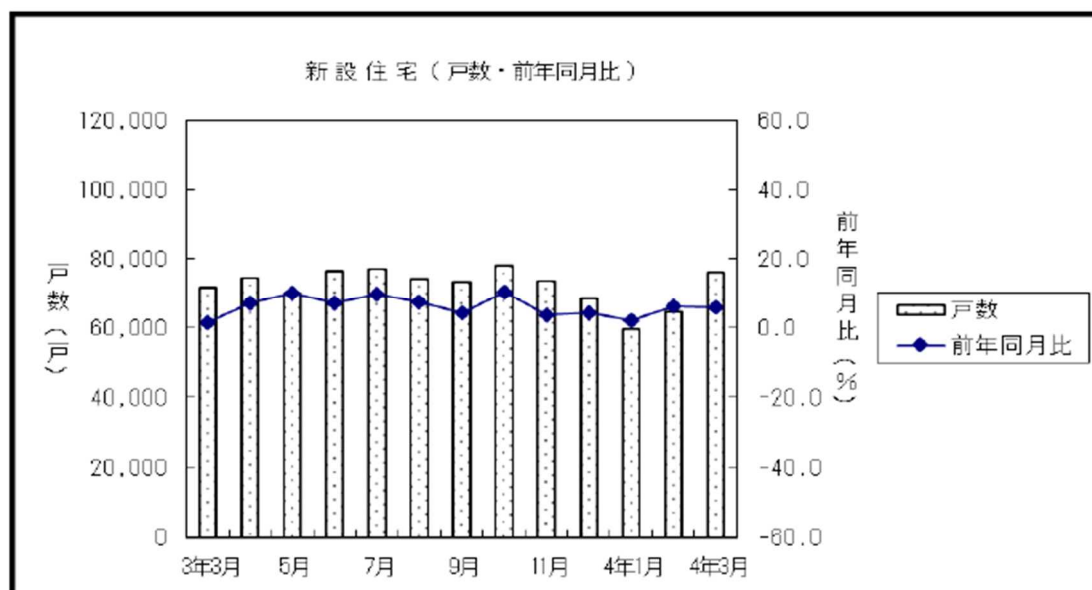
受注高の推移(令和3年度)



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00600130&tstat=000001015811>

2. 住宅着工

3月の新設住宅着工は、持家は減少したが、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比6.0%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比6.3%の増加となった。



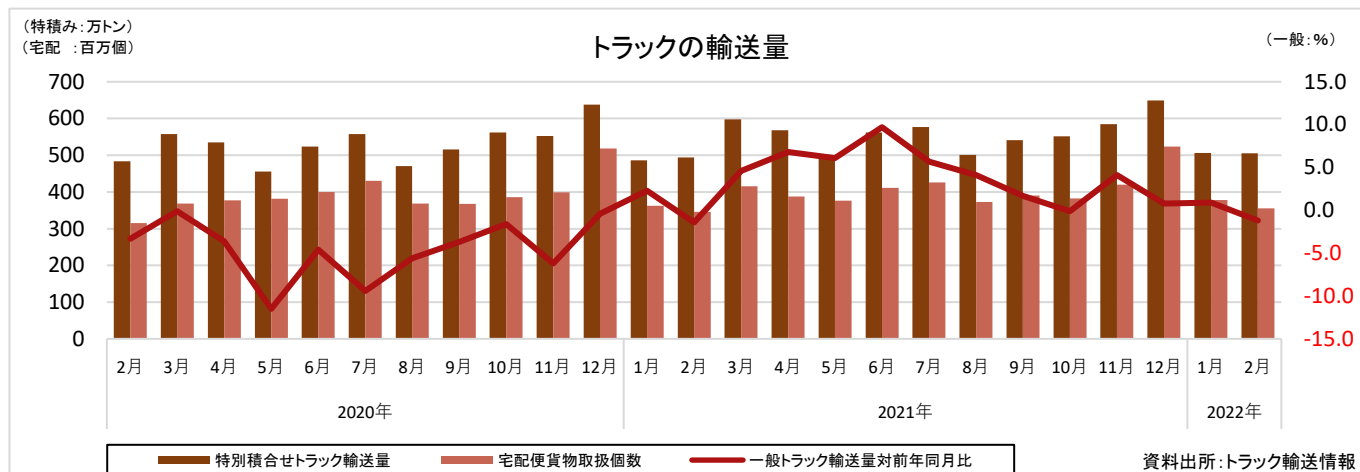
出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」
<https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&toukei=00600120&kikan=00600>

Ⅱ 交通分野

1. 貨物輸送

(1) トラック

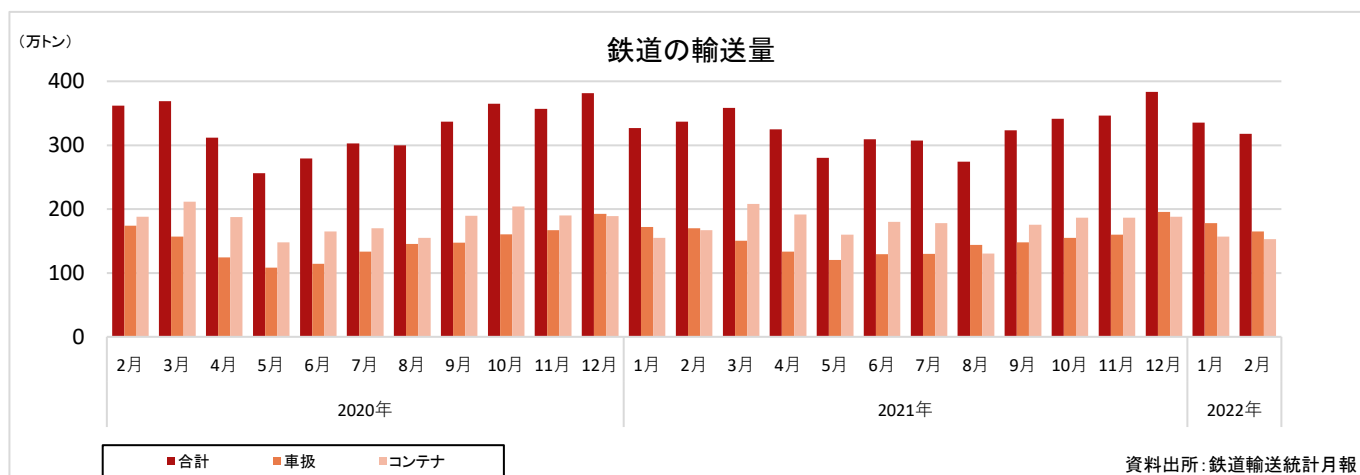
2月の特別積合せトラック（大手24社）の輸送量は505万トン（対前年同月比2.4%増加）、宅配貨物取扱事業者（大手14社）による宅配便貨物取扱個数は355百万個（対前年同月比2.8%増加）、全国の一般貨物トラック事業者（約1,000社）による一般トラック輸送量は対前年同月比1.2%減少となった。



(2) 鉄道

2月の鉄道の輸送量は318万トン（対前年同月比5.6%減少）となった。

そのうち、車扱は165万トン、コンテナは153万トンであった。

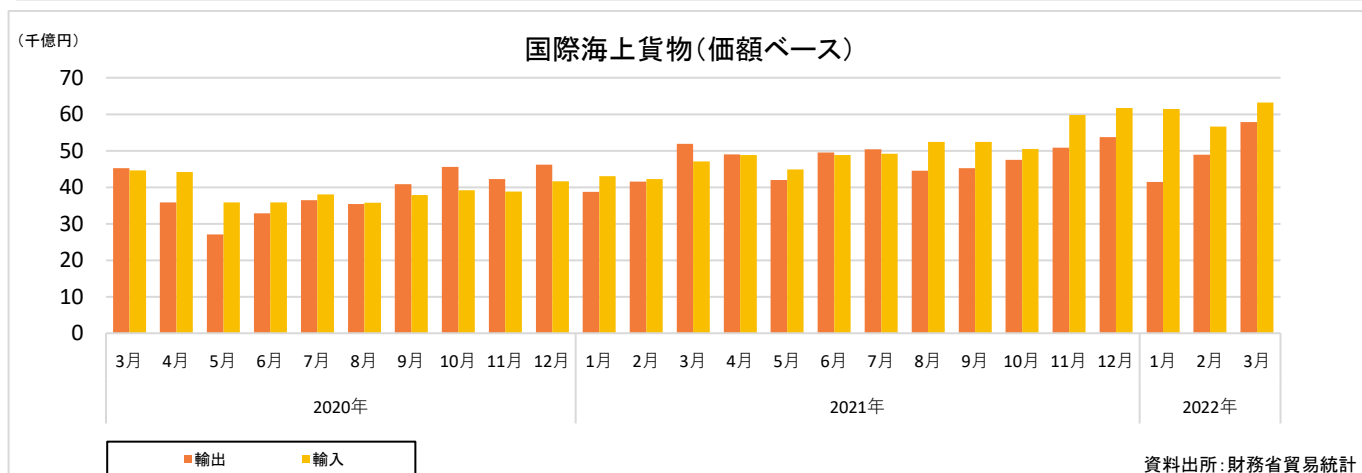
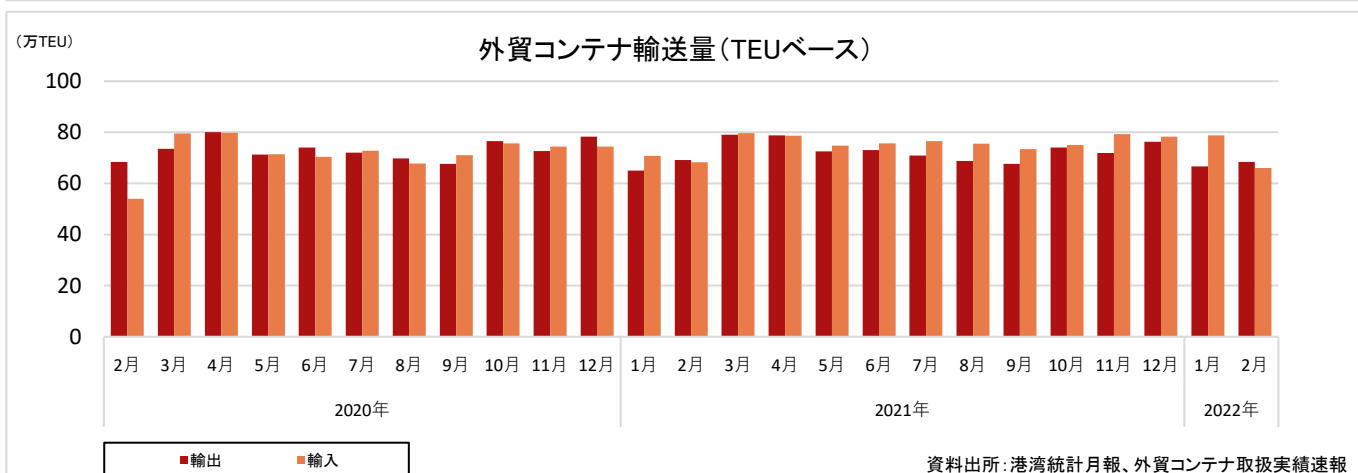
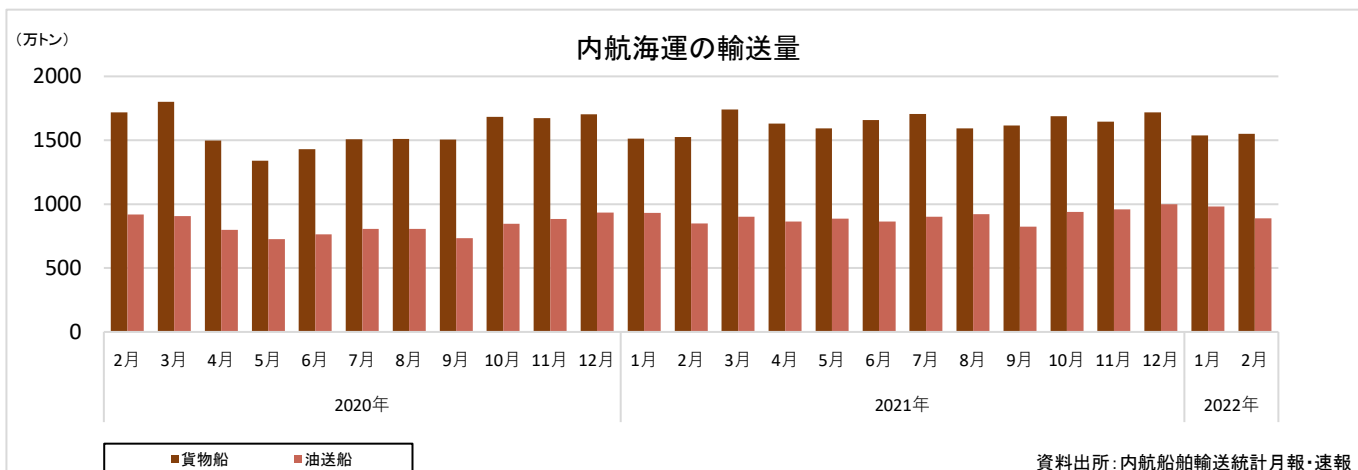


(3) 海運

2月の内航海運の輸送量は、貨物船1,551万トン（対前年同月比1.7%増加）、油送船889万トン（対前年同月比4.9%増加）となった。

2月の外航海運（外貿コンテナ）の輸送量は、輸出68万TEU（対前年同月比1.8%増加）、輸入66万TEU（対前年同月比5.6%減少）となった。

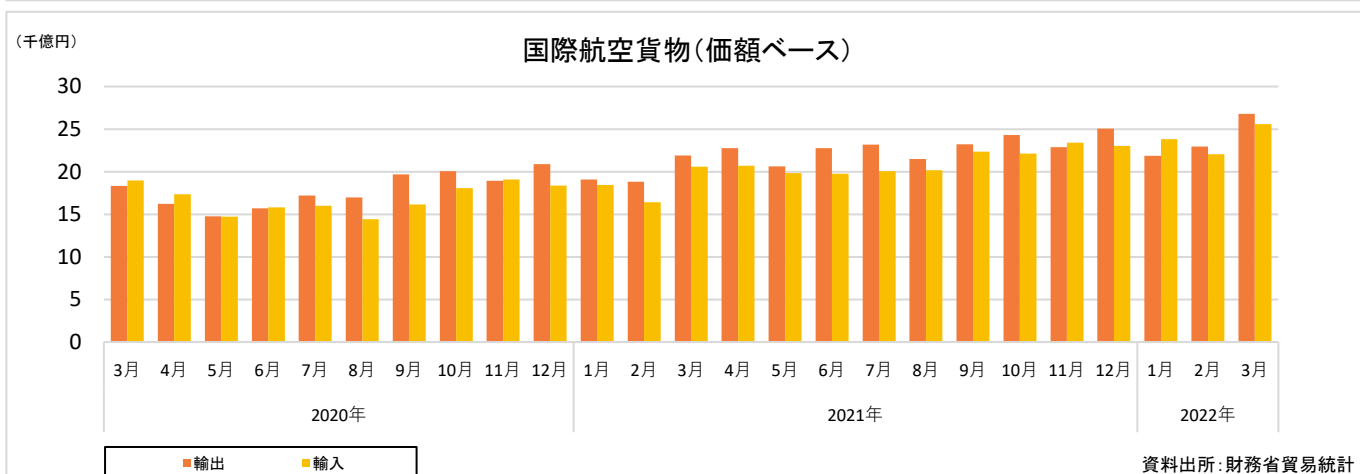
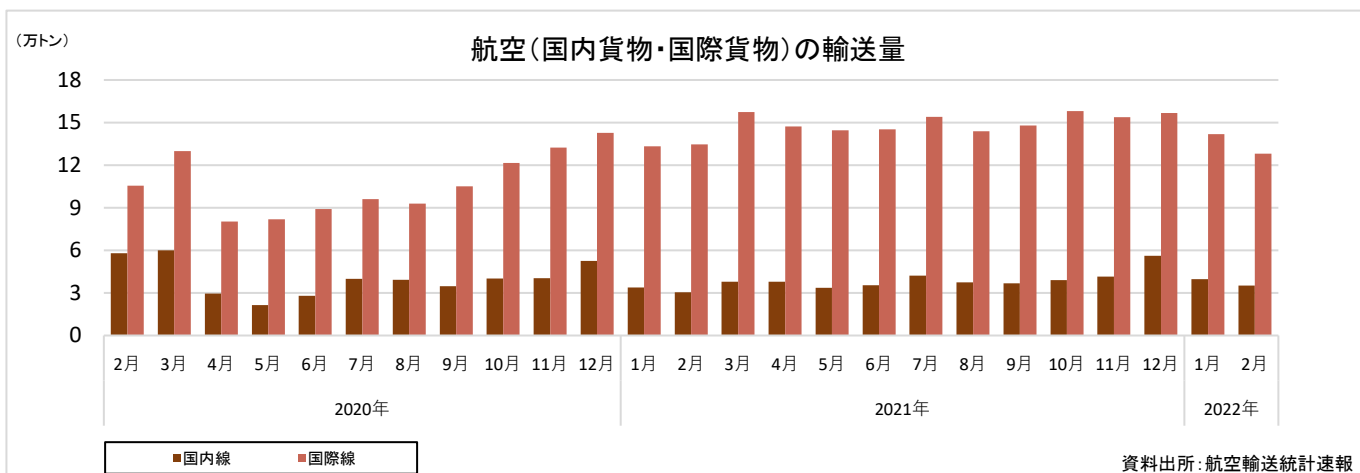
3月の国際海上貨物（価額ベース）は、輸出5.8兆円（対前年同月比11.5%増加）、輸入6.3兆円（対前年同月比34.3%増加）となった。



(4) 航空

2月の航空の輸送量は、国内線 35 千トン（対前年同月比 15.1%増加）、国際線 128 千トン（対前年同月比 4.9%減少）となった。

3月の国際航空貨物（価額ベース）は、輸出 2.7 兆円（対前年同月比 22.1%増加）、輸入 2.6 兆円（対前年同月比 24.3%増加）となった。

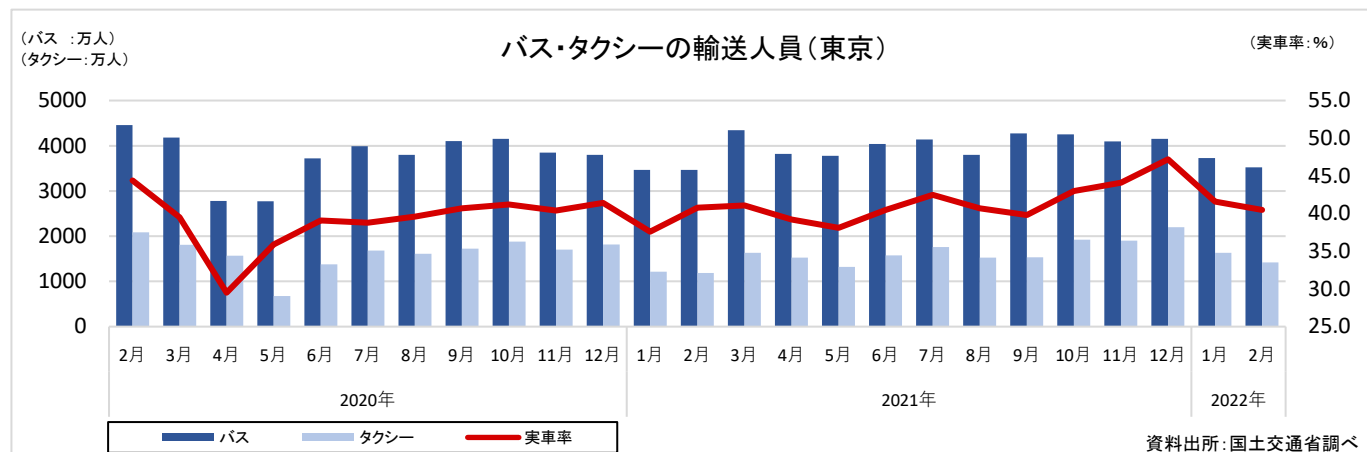


2. 旅客輸送

(1) バス・タクシー

2月のバス（東京均一制区間を運行する乗合事業者（10社））の輸送人員は3,524万人（対前年同月比1.7%増加）となった。

2月のタクシー（東京都（島しょを除く）の全社）の輸送人員は1,422万人（対前年同月比19.6%増加）、実車率は40.5%となった。



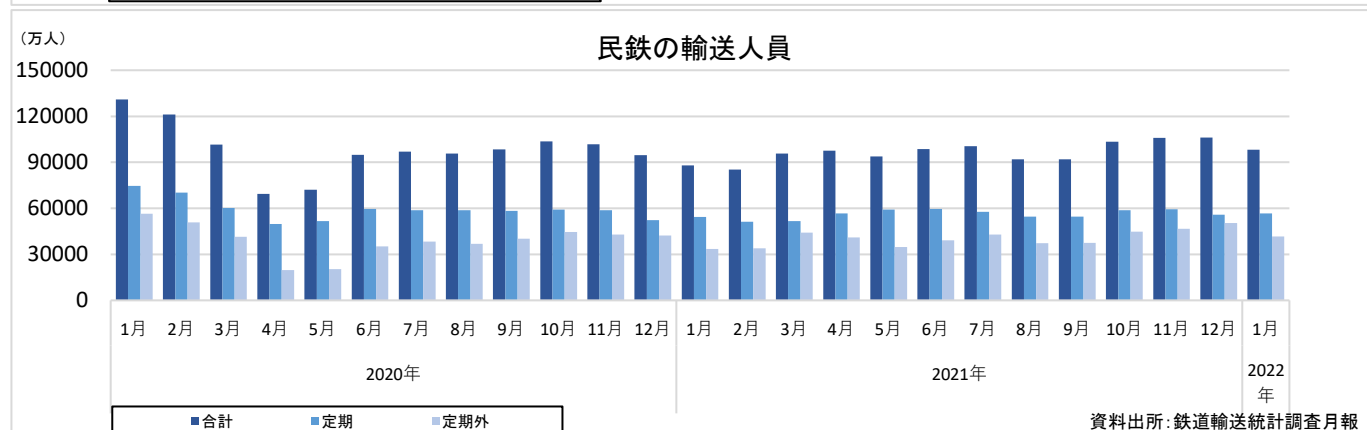
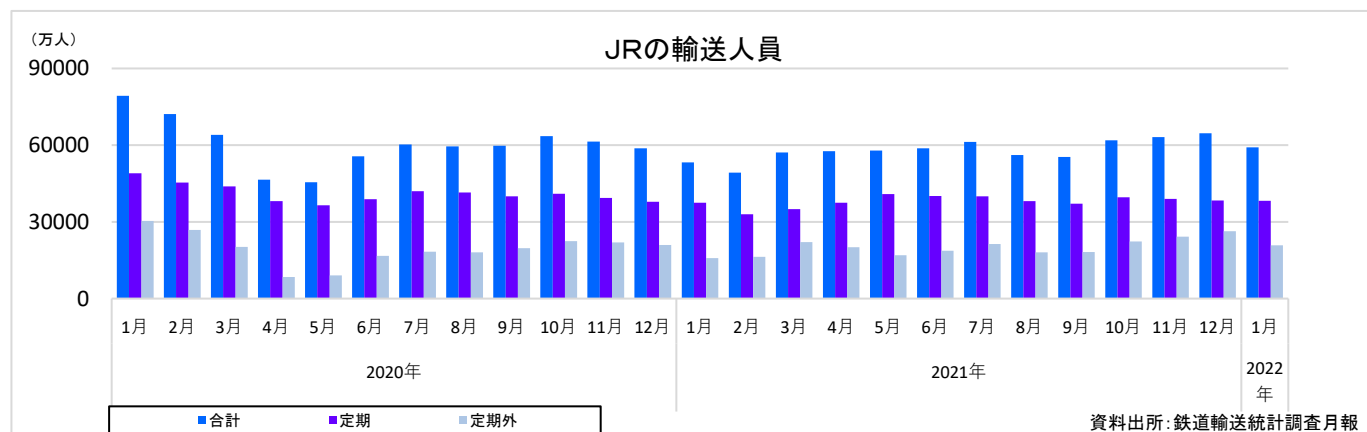
(2) 鉄道

1月のJ Rの輸送人員は59,104万人（対前年同月比10.9%増加）となった。

そのうち、定期は38,251万人、定期外は20,853万人であった。

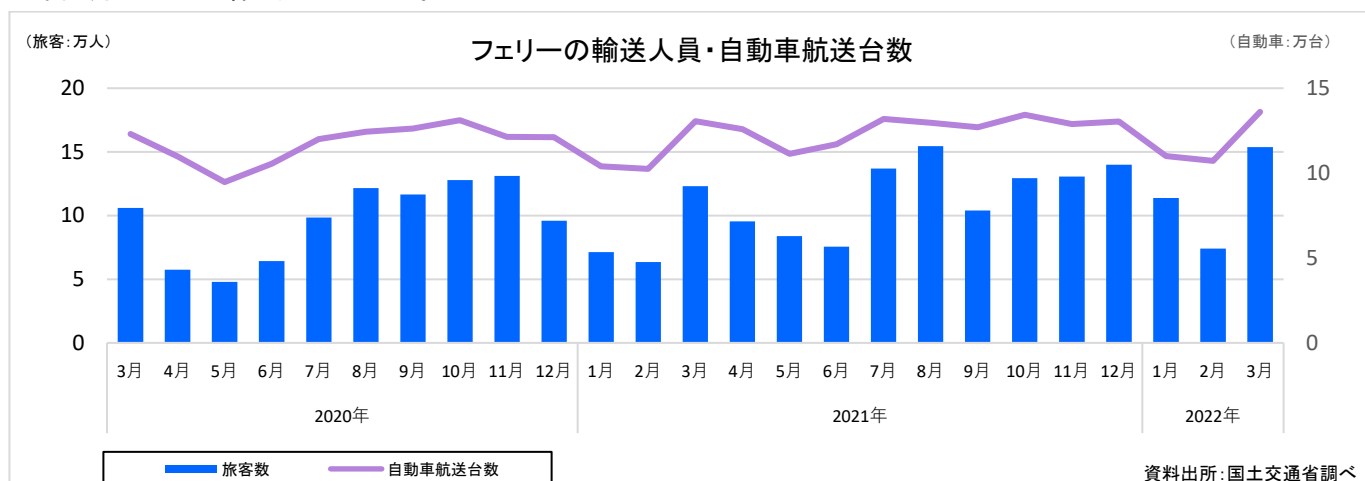
1月の民鉄の輸送人員は98,237万人（対前年同月比11.8%増加）となった。

そのうち、定期は56,633万人、定期外は41,604万人であった。



(3) フェリー

3月の長距離フェリーの輸送人員は15万人（対前年同月比24.9%増加）、自動車航送台数は14万台（対前年同月比4.2%増加）となった。

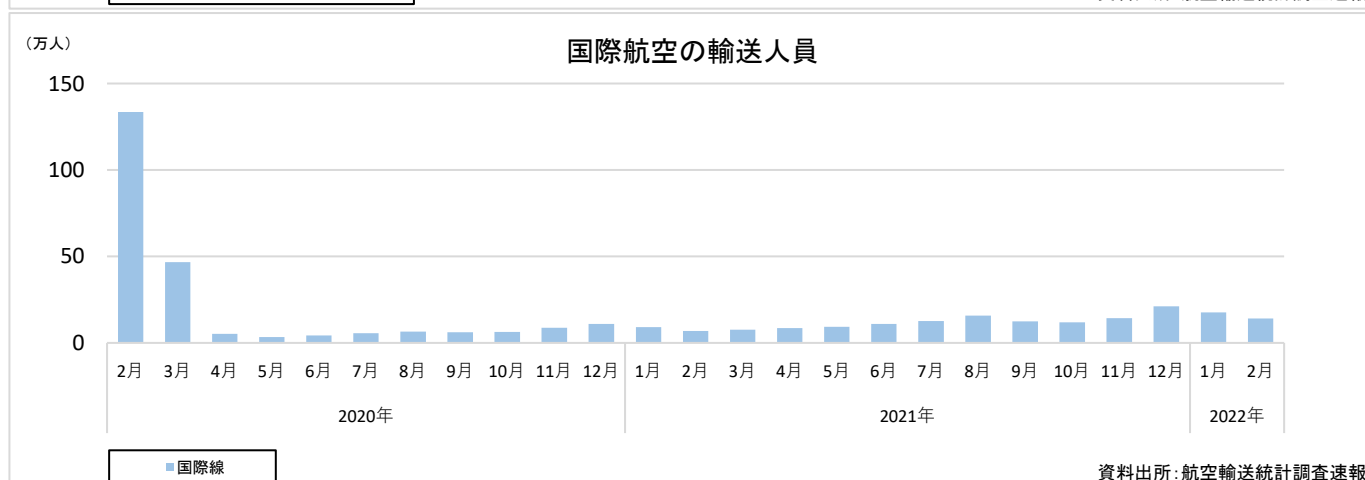
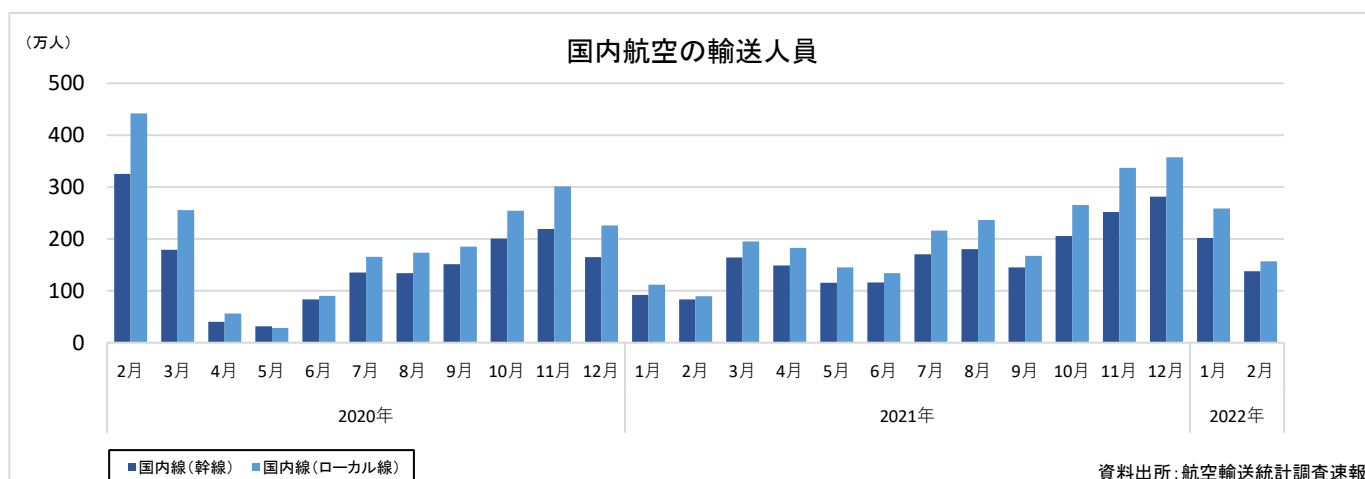


(4) 航空

2月の国内線の輸送人員は294万人（対前年同月比70.1%増加）となった。

そのうち、幹線は138万人、ローカル線は157万人であった。

2月の国際線の輸送人員は14万人（対前年同月比103%増加）となった。



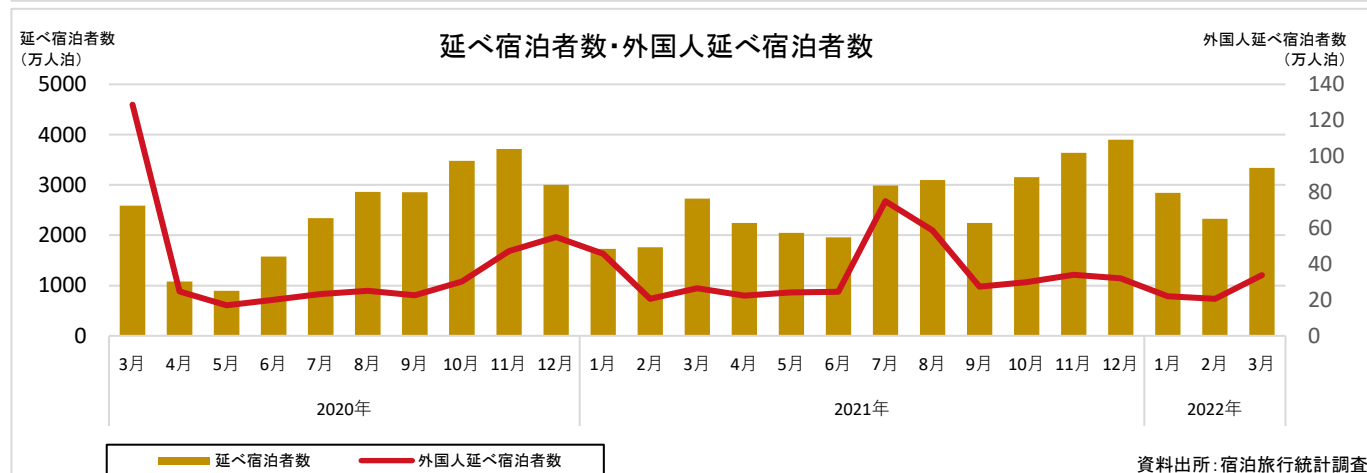
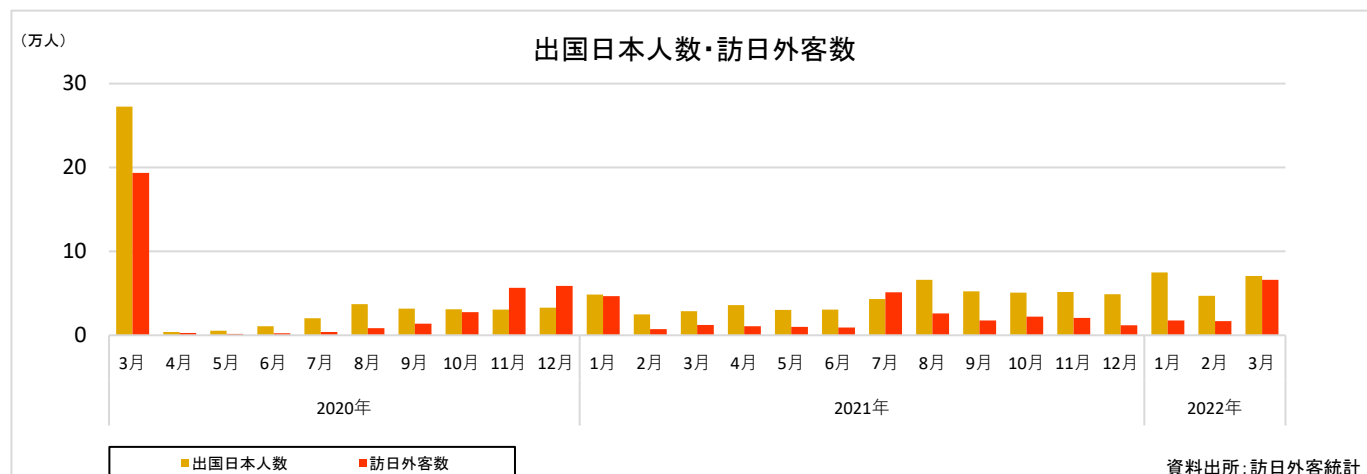
3. 観光分野

(1) 出国日本人数、訪日外客数、宿泊者数

3月の出国日本人数は7万人（対前年同月比144.7%増加）、訪日外客数は7万人（対前年同月比438.4%増加）となった。

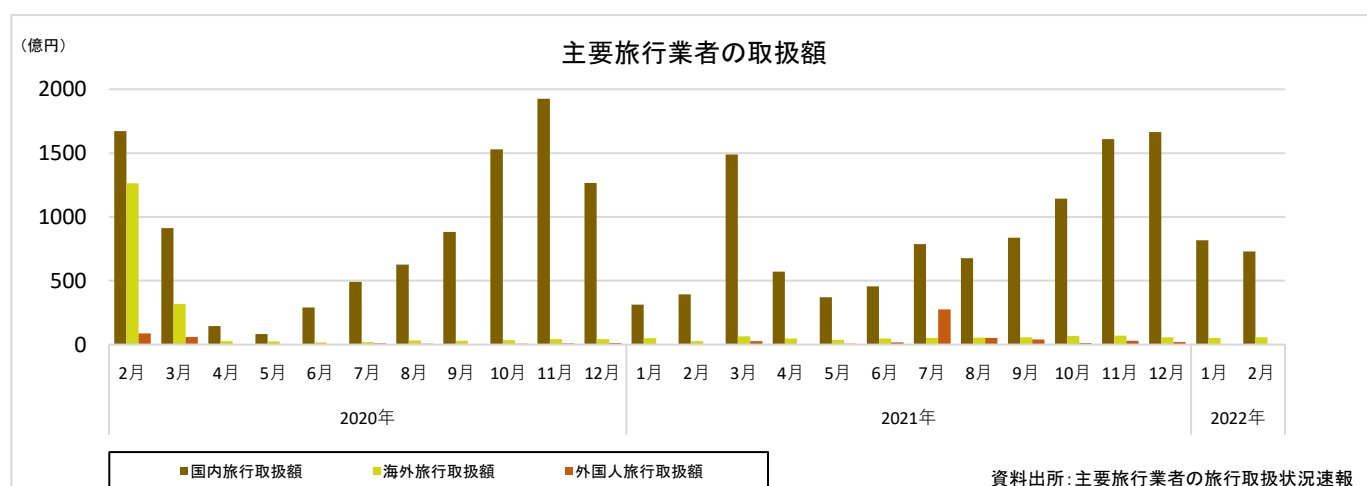
3月の延べ宿泊者数は3,338万人泊（対前年同月比22.3%増加）となった。

そのうち、外国人延べ宿泊者数は34万人泊（外国人シェア1.0%）であった。



(2) 主要旅行業者の旅行取扱状況

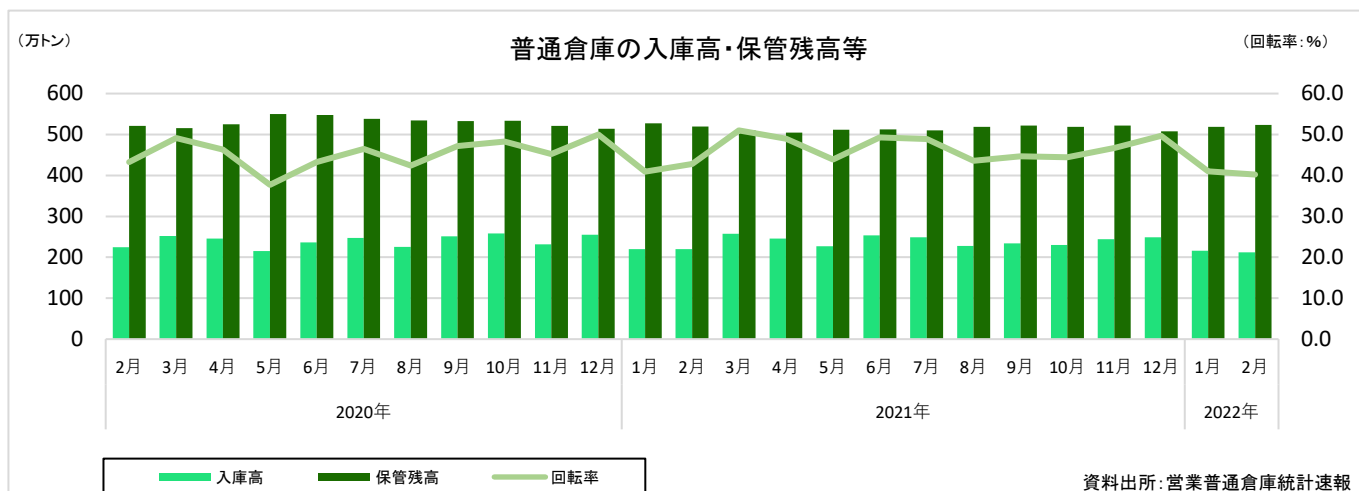
2月の主要旅行業者（45社）の取扱額は、国内旅行730億円（対前年同月比86.2%増加）、海外旅行58億円（対前年同月比112.5%増加）、外国人旅行取扱額5億円（対前年同月比108.4%増加）となった。



4. その他

(1) 倉庫

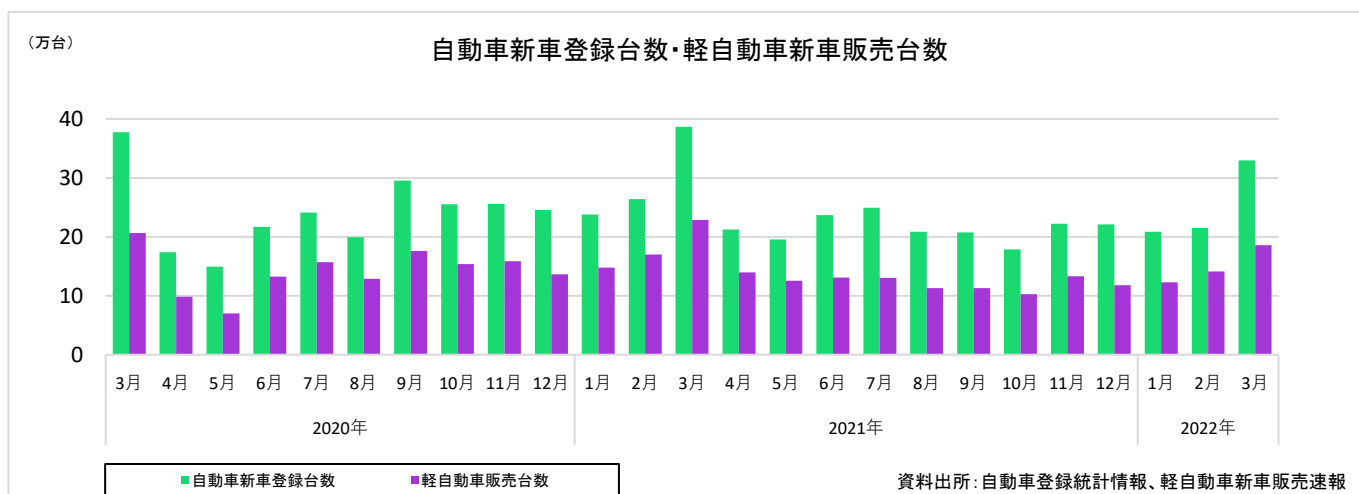
2月の普通倉庫の入庫高は212万トン（対前年同月比3.7%減少）、保管残高は523万トン（対前年同月比0.7%増加）、回転率40.2%となった。



(2) 自動車新車登録台数、軽自動車販売台数

3月の自動車新車登録台数は33万台（うち貨物車登録台数4万台、旅客車登録台数28万台）となった。

3月の軽自動車販売台数は19万台となった。



(3) 自動車保有台数

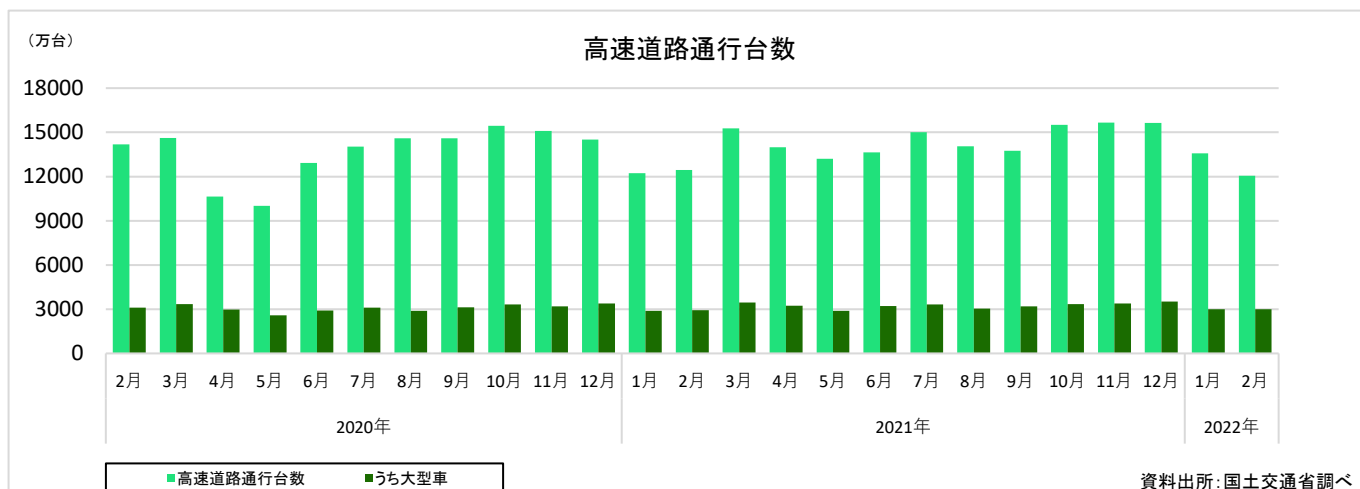
2月の自動車保有台数は8,257万台となった。

(4) 高速道路通行台数

2月の高速道路通行台数は12,047万台（対前年同月比3.2%減少）となった。

そのうち、大型車通行台数は3,001万台であった。

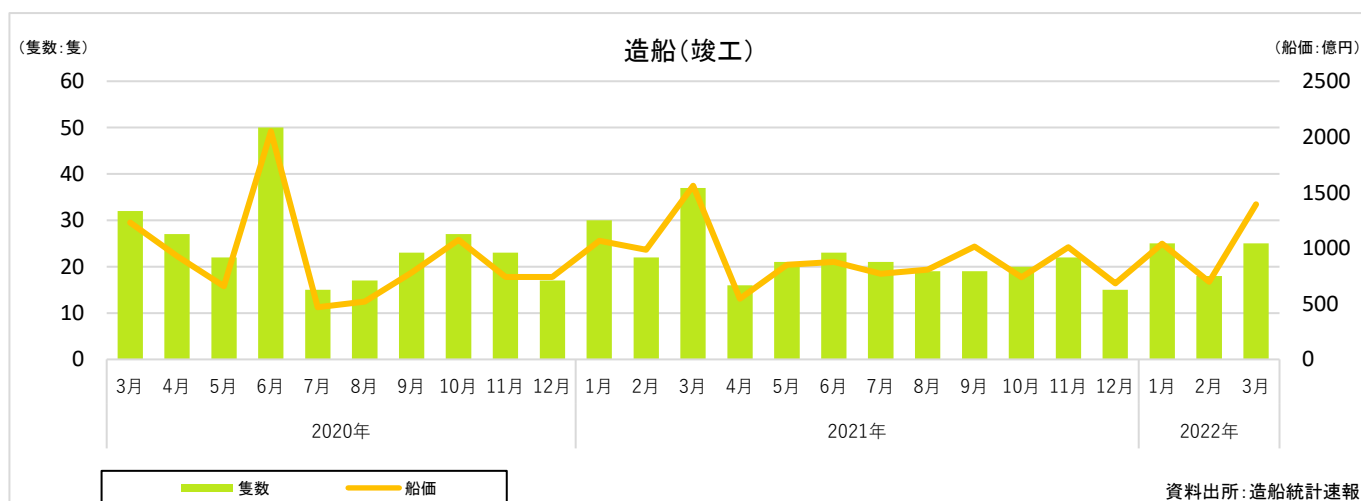
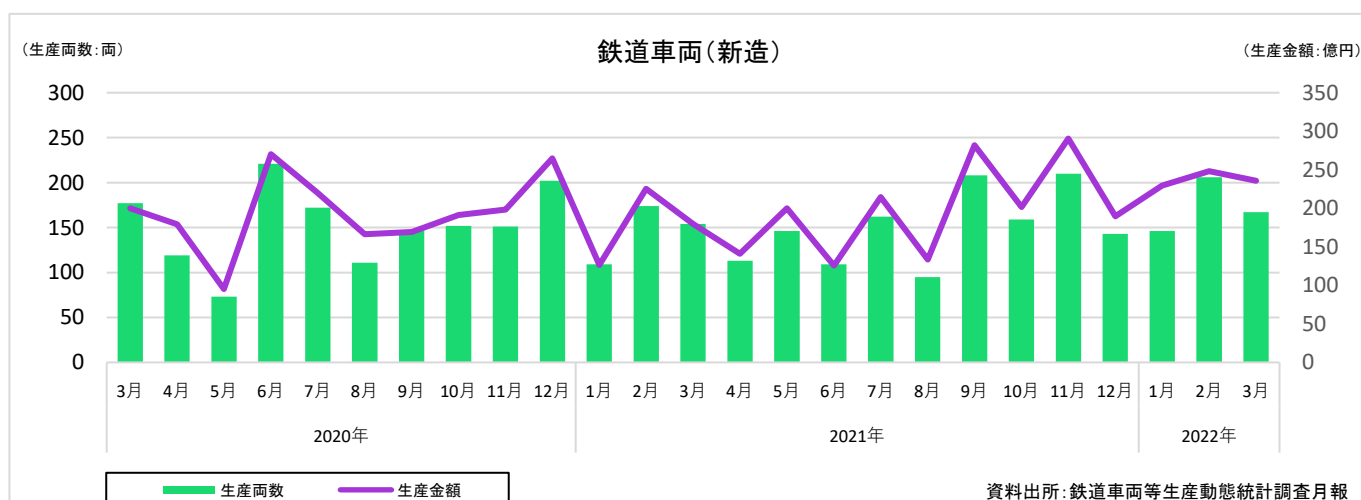
また、東名高速道路通行台数は1,064万台であった。



(5) 鉄道車両、造船

3月の鉄道車両（新造）の生産両数及び生産金額は167両、236億円となった。

3月の造船（竣工）の隻数、トン数及び船価は25隻、1,110,931G/T、1,393億円となった。

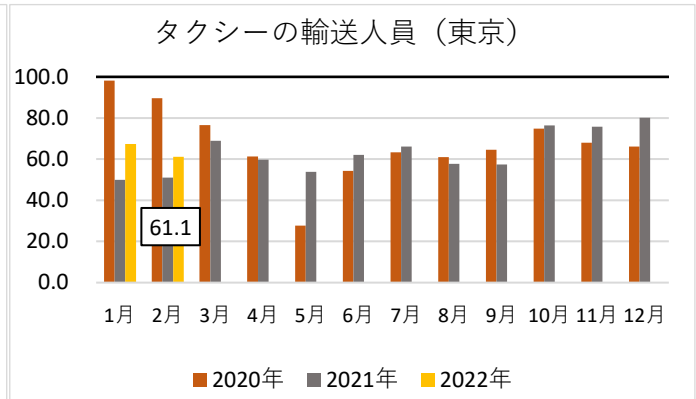
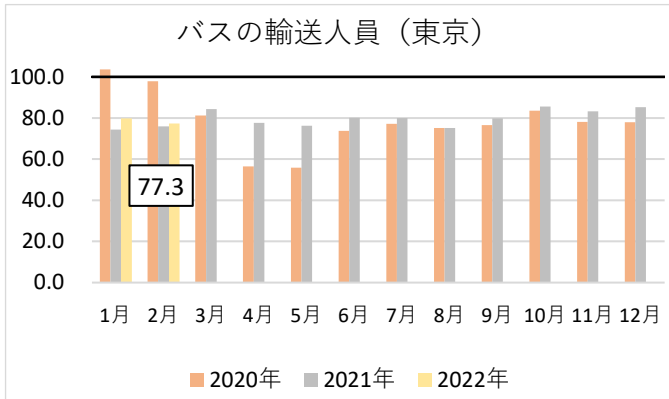


(参考) 旅客輸送の対 2019 年同月比について

(1) バス・タクシー

2月のバス（東京均一制区間を運行する乗合事業者（10社））の対2019年同月比は77.3%となった。

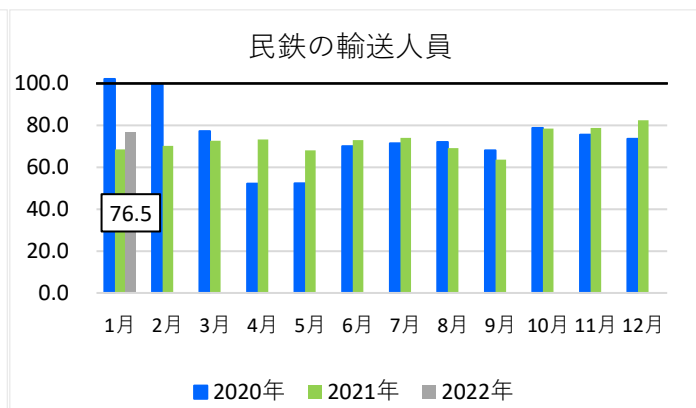
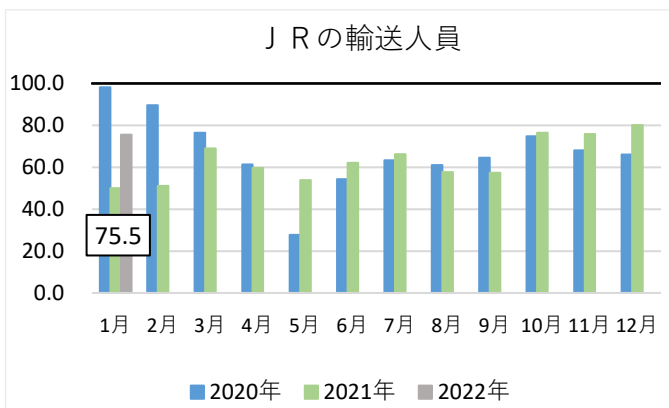
2月のタクシー（東京都（島しょを除く）の全社）の対2019年同月比は61.1%となった。



(2) 鉄道

1月のJ Rの対2019年同月比75.5%となった。

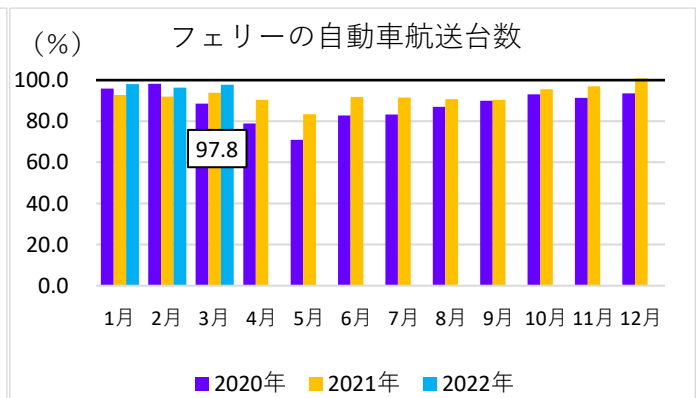
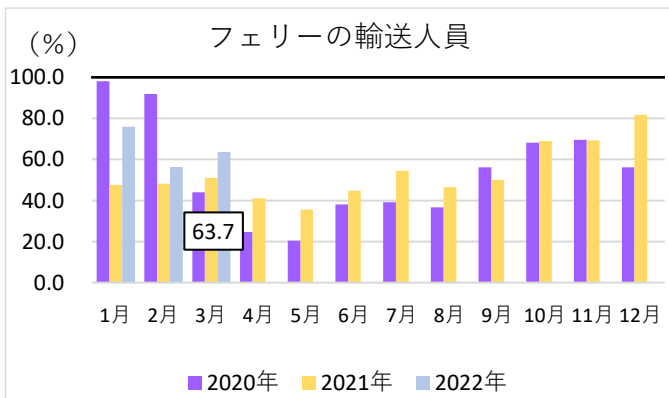
1月の民鉄の対2019年同月比は76.5%となった。



(3) フェリー

3月の長距離フェリーの対2019年同月比は63.7%となった。

3月の自動車航送台数の対2019年同月比は97.8%となった。



(4) 航空

2月の国内線の対2019年同月比は37.5%となった。

2月の国際線の対2019年同月比は7.8%となった。

